

幼少期より蕁麻疹、足の痛み、逆流性食道炎、耳鳴り、
難聴など様々な症状に苦しんできた方の手記。

「辛い全身症状からの解放（耳鳴り・難聴手記）」

匿名希望 51歳

2016年5月25日

幼いころよりアトピー体質だったと感じます。耳たぶの付け根が切れていつも血が出ていました。蚊に刺されると蜂に刺されたのではないかと思うほど腫れて病院にも行きました。蕁麻疹は年に数度、いつも身体のあちこちが痒くて、ステロイドの軟膏も知らず知らずのうちに使用していたと思います。私の顔色はいつも悪く親戚の中で話のネタになっていました。小学生の頃は足の痛みがあり、夜になると母に足をさすってもらい寝たのを覚えています。病院もあちこち回った記憶がありますが、原因不明だったようです。中学・高校の頃は物凄いいきびに悩まされ、酷く傷ついた記憶がたくさんあります。

数年前より左の頬が赤くなり、頭皮が痒くいつも出血していました。同じ時期に紫外線アレルギーにもなり、布団を干しただけのわずかな時間でも、日焼け止めも効果がなく、手の甲に水膨れができ、すぐには治らず一年中痒みが伴いました。とにかく陽に当たらないように外出時はマスクと大きな帽子、手袋、夏でも黒の長袖、そして、日傘をさして外出していました。知らない人を見るとギョッとする光景だと思っています。

他には皮膚の疾患は胸・背中・二の腕のニキビがありました。花粉症・逆流性食道炎もありましたので、常時、薬を服用する状況でした。薬は抗アレルギー剤のザイザル・抗生物質のクラビット・逆流性食道炎のオメプラゾール・塗り薬としてアンテベート・リンデロン・ロコイド、眼の異物感から市販点眼薬を使用。その他に一か月に一度程度、蕁麻疹、膀胱炎になることが多く気が付くと病院ばかり通っていました。常に足のむくみを感じ眠ることができず、利尿効果がある健康食品を取り寄せたり、更年期障害に良いといわれる、プラセンタも飲んでいました。

2012年夏、耳鳴りを感じるようになりました。左耳の耳鳴りで、疲れからきているものだと思い、あまり気にしませんでした。しかし、店員さんの話が聞こえなくなり、男性の低い声は全く聞きとれず、家族から耳が遠いと言われるようになり、耳に閉塞感を感じるようになりました。2012年12月年

末、近くにある総合病院の耳鼻科を受診することにしました。その日は偶然にも大学病院の教授の診察日でした。低音性感音難聴と診断され、心配な点があるからと血液検査をし、たくさんの飲み薬をもらい帰りました。耳鼻科からもらった薬を飲んで、良くはなりませんでしたが。聴力はだんだんと悪くなり、足元がゆらゆらするような目眩と吐き気で症状は悪化するばかりでした。

2013年1月、血液検査の結果を聞くため、受診をし、教授の先生から「内耳自己免疫病」と告げられました。「激しい目眩を繰り返し、聴力が低下していくでしょう。でも命に関わることではないので安心なさい。これからの治療方法として症状がもう少し進行した場合ステロイド、免疫抑制剤治療をしましょう。」と告げられました。全身症状がすでに辛かった私はステロイドの怖さも知っていましたが「ステロイド治療をしてください。」とお願いしました。でも、先生は「依存症になるから様子をみましょう」と、言われました。今から考えると、その先生に感謝しなくてはいけないと感じます。

病院からの帰り道、耳が聞こえなくなる不安、この辛い全身症状、命に関わらないと言われても、これから先、外出もできず、家で寝ているだけの一生を思うと涙が溢れてきました。この時点では、耳の症状の他に全身の倦怠感、背中の痛みと雲の上を歩くような浮遊感、吐き気で日々の生活が辛く、テレビを見ること、音を聴くこと、臭いに敏感になり、特に食べ物の臭いで吐き気もあり、ひどいつわりのような感じでした。暗い静かな部屋で寝ているのが一番楽でした。

ネットで調べていくうちに目眩の治療は抗ヘルペス薬で治ることがわかり、治療をしている病院を探しました。札幌の病院・東京の大学病院・そして松本先生でした。二つの病院ではステロイドと併用する治療方法でした。ステロイド治療ならいつでもできると考え、私はステロイド治療をしない松本先生を受診してみようと思いました。

2013年1月、月末の土曜日でした。主人に付き添ってもらい、吐き気があるため、混雑を避け、口にビニール袋をあてながら、大阪までの道中耐えました。大阪に前泊し、次の日、高槻の松本医院にようやく辿りつきました。新幹線の中でプリントアウトした先生の論文を読みましたが、診察室では先生に何度も怒られて、鍼の先生に「今日一番怒られていた患者さんだったね！」と笑われました。でも、その鍼のおかげで帰りの新幹線の中では軽食を取ることができて、主人が「もう治った？」と驚いていました。たくさんの薬を頂いて希望を持って帰ってきたと思います。それからが、たいへんでした。

今までの病院からもらった薬は、一切、服用しませんでした。煎じ薬を2種類、バルトレックスを一日6錠で頑張りました。背中の痛みがすごくて、近くの鍼の先生に数回お世話になりましたが、お手上げ状態となり「頸椎が悪いので整形外科で診てもらいなさい。」と言われ次の予約をしてもらえませんでした。眠ることができず、寝たとしても、寝汗がひどく夜中に全身の着替えをし、熱が高く(37.5~38℃)、無理をして食べても、体重は怖いくらいに減って

いきました。結果的に5キロ減ってしまい、イスに座るとお尻の骨があたり痛くて座ることができませんでした。太ももの筋肉が落ちてみるみるうちに細くなっていきました。全身の倦怠感もひどく、一日中横になることが多かったと思います。その他の症状としては、耳鳴りは両耳となり、頭鳴りもありました。頭痛はありませんでしたが頭の締め付け感、尾骶骨あたりのムズムズ感、鼻の奥の締め付け感、吐き気、目眩、症状は日々変動していき、益々悪化していきました。その他には軽い関節の痛み、手足の指先の部分的な腫れ、左半分の顔の痺れ、味覚麻痺、顎関節の痛み、目やに、口内炎・・・次々と症状が私に訪れました。これから先の自分はいったいどうなるのだろうと不安でいっぱいでした。何か、他の膠原病なのかもしれないと不安でいっぱい、この治療は間違っているのではないかと何度も不安に思い、その度に皆さんの体験記を読み励まされてきました。しかし、不思議なことに毎年苦しんでいた花粉症の症状は一切でることはありませんでした。仕事はどうか続けていましたが、印刷機の声、電話の呼び出し音、マイクを使用しての会議等は辛く、お休みできる時はなるべく休むようにしていました。有給休暇は全て使い切りました。

2013年4月、不安から東京の大学病院にも診てもらいました。総合診療科で全身の検査をしました。血液検査の結果はHとLの印がたくさんありましたが、原因はわからず、経過観察となり、自律神経、更年期障害等も視野に入れて調べてもらいましたが、結果的には耳鼻科・精神科を受診するよう言われました。

2013年4月後半、デコルテの辺りにアトピーがでるようになりました。2013年ゴールデンウィークの頃から、少しずつですが、全身の症状がやわらいでいくような気がしました。久しぶりに外食をすることになりましたが、臭いにとっても敏感で、座っていることができず、一人、車で寝て待っていました。外出は無理な状態でしたが、体調の良い日は家事を少しできるようになりました。

2013年夏、アトピーが物凄い勢いで出始めました。頭皮のアトピーは事務作業をしていると資料の上に黄色の液体がぽたぽた落ちてきました。毛が抜けてしまうのではないかととても不安でした。臉と首が腫れて真っ赤になりじゅくじゅくして、痛くて痒くて眠ることができず、先生にお願いをして睡眠薬を服用しました。それと引き換えに全身の倦怠感は減ってきて、家事を少しずつできるようになってきました。その他の症状も少しずつ楽になっていったような気がします。このころには一人で乗り物に乗ることが出来るようになりました。アトピー以外は少しずつですが症状が減っていき普通の生活ができることをとても嬉しく感じました。

2013年暮れには、スポーツジムに通うことができました。昔はダンス系のレッスンばかりをうけていましたが、耳の症状があるので、それは避けています。あと、音響、マイクを通しての人の声は苦手なので耳栓をしてジムに通い始めました。アトピーの症状は半年ほど続きましたが、少しずつ良くなって

いきました。

2014年春、アトピー再発。同じ場所にアトピーが再発しましたが、前回よりは治りが早かったような気がします。

2016年3月現在、アトピーは足とお尻にでたり、治ったりを繰り返しています。その他の症状としては耳鳴り、気圧の関係で耳の閉塞感、顎関節で口を開けるときの物凄い音がするときがあります。聴力は日常生活に支障はありません。会社の健康診断では、今年の検査結果は全てAランクとなり、去年はBとCばかりだったのが、嘘のようです。体重もすっかり元に戻り、今は増えるのが怖いくらいです。知り合いのお医者さんに、今は寛解の時期にあるだけだと思うよ。と言われました。もし、そうだとしても、それでも、私は満足しています。ステロイドを使用せずにここまで乗り切ってきたのですから。

現在は松本医院で頂いているお薬だけですごしています。持病であった逆流性食道炎、蕁麻疹、膀胱炎になることもありません。先生から耳の治療のための煎じる漢方のお薬、胃薬・花粉症の漢方薬を頂いております。肌の質は生まれてから今が一番良いかもしれません。この年齢になって、そう思えることはおかしな話だと思うかもしれません。漢方薬のお陰で、便秘もせず、尿もたくさんでます。むくみに悩まされることも少なくなってきました。

私は3年間松本医院にお世話になり現在に至っております。保険が効かない治療を受けることで家族には本当に迷惑をかけたと思います。バルトレックスは1錠500円近くします。それを1日6錠、1年近く服用していました。その後、アシクロビルに変更してもらい、金銭的にかなり楽になりました。

松本先生にはこれからも、お世話になりたいと思っております。よろしくお願いいたします。